様式１（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	3-(9)-ア	スポーツ関連産業の振興と地域の活性化	施 策	①スポーツコンベンションの推進とスポーツ交流拠点の形成
			施策の小項目名	○スポーツコンベンションの誘致・開催
主な取組	スポーツコンベンション誘致戦略推進		対応する成果指標	スポーツコンベンション開催実績
施策の方向	・本計画におけるスポーツコンベンションとは、スポーツに関係する合宿、キャンプ、自主トレ、大会、イベント等の総称です。スポーツコンベンションの推進は、沖縄観光の課題である「閑散期と繁忙期の平準化」や、長期滞在傾向等による経済効果の増大に寄与することから、市町村やスポーツコミッション沖縄等と連携し、各種スポーツキャンプ、合宿やスポーツイベント、競技大会等のスポーツコンベンションの誘致・開催に取り組みます。			

1　取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
国際大会誘致やアジア等で開催される大会の事前合宿を視野にスポーツコンベンションの誘致を進めるため、受入市町村と連携し、スポーツキーパーソンの招聘や合宿実証に取り組む。	県,市町村,スポーツコミッション沖縄	スポーツコンベンションの誘致		
		スポーツ団体合宿実証件数（累計）		
		10件	10件（20件）	10件（30件）

担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部スポーツ振興課　【　098-866-2708　】	関連URL	―

様式１（主な取組）

2　取組の状況（Do）

（1）取組の進捗状況

（単位：千円）

予算事業名	スポーツコンベンション誘致戦略推進事業		
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額
一括交付金 （ソフト）	委託	50,838	60,152

予算事業名	スポーツコンベンション誘致戦略推進事業	
R7年度		
主な財源	実施方法	当初予算額
一括交付金 （ソフト）	委託	61,870

令和6年度活動内容

スポーツコンベンション誘致広報活動に合わせ、スポーツキーパーソン招聘およびスポーツ団体合宿実証に取組んだ。

令和7年度活動計画

スポーツキーパーソン招聘、スポーツ団体合宿実証、大会形式のスポーツコンベンション誘致および合宿・キャンプ受入れの社会的効果算出に取組む

活動指標名	スポーツ団体合宿実証件数（累計）		R6年度			進捗状況	活動概要
実績値	R4年度	R5年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		スポーツキーパーソン招聘やスポーツ団体合宿実証を通して、合宿実施における課題を検証し、合宿受入体制の強化を図った。
	9件	13件（22件）	12件（34件）	10件（30件）	100.0%	順調	

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

合宿受入市町村等と連携し、目標を上回る合宿実証を実施した。

（2）これまでの改善案の反映状況

令和6年度の取組改善案	反映状況
受入市町村や関係機関との意見交換を重ね、アーバンスポーツの合宿誘致、医療やウェルネスと連携したメンタルおよびフィジカルリカバリーの体制構築を図る。	アーバンスポーツ施設の視察および意見交換のほか、スポーツコミッション多角化推進事業と連携し、本県での合宿開催の付加価値向上のため、医・科学的サポート（トレーナー派遣・スポーツ科学測定等）に取組んだ。

様式１（主な取組）

3　取組の検証（Check）	
類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	スポーツ科学測定については測定から得られる効果などをチームにイメージしてもらうことが難しく、ニーズ拡大につなげるのが困難であった。
⑦ その他(改善余地の検証等)	アーバンスポーツ誘致のためには、施設整備も重要だが、人口の多い東京でも施設運営は厳しいため、沖縄で整備を検討している市町村の情報収集（情報共有）を図る必要がある。

4　取組の改善案（Action）	
類型	内容
② 連携の強化・改善	合宿実証との連携による「スポーツ科学測定ツアー」として、まずは体験し効果を実感してもらえるような取り組みを検討する。
⑧ その他	合宿がもたらす地域への影響として社会的効果が注目されており、各市町村の課題・状況に応じた受入れ競技の可能性を検討する。

様式１（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	3-(9)-ア	スポーツ関連産業の振興と地域の活性化	施 策	①スポーツコンベンションの推進とスポーツ交流拠点の形成
			施策の小項目名	○スポーツコンベンションの誘致・開催
主な取組	スポーツ観光戦略的誘客促進		対応する成果指標	スポーツコンベンション開催実績
施策の方向	・本計画におけるスポーツコンベンションとは、スポーツに関係する合宿、キャンプ、自主トレ、大会、イベント等の総称です。スポーツコンベンションの推進は、沖縄観光の課題である「閑散期と繁忙期の平準化」や、長期滞在傾向等による経済効果の増大に寄与することから、市町村やスポーツコミッション沖縄等と連携し、各種スポーツキャンプ、合宿やスポーツイベント、競技大会等のスポーツコンベンションの誘致・開催に取り組みます。			

1　取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
県外、海外からのスポーツ観光誘客促進のため、設定した重点ターゲット層に対しプロモーション活動の実施、スポーツ観光として来県した観光客の受入ニーズの把握、消費単価拡大等に向けた取組みを戦略的に実施する。	県	重点ターゲット設定、戦略的プロモーション	戦略的プロモーション	
		スポーツ観光プロモーション件数（累計）		
		26件	30件（56件）	30件（86件）

担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部スポーツ振興課　【　098-866-2708　】	関連URL	―

様式１（主な取組）

2　取組の状況（Do）

（1）取組の進捗状況　　（単位：千円）

予算事業名	スポーツ観光戦略的誘客促進事業		
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額
一括交付金 （ソフト）	委託	65,603	50,358

令和6年度活動内容

スポーツ観光誘客を推進するため、マラソン大会やサイクリングイベントにおけるブース出展など沖縄へのスポーツ旅行に係るプロモーションを行った。

予算事業名	スポーツ観光戦略的誘客促進事業	
R7年度		
主な財源	実施方法	当初予算額
一括交付金 （ソフト）	委託	50,298

令和7年度活動計画

スポーツ観光誘客を推進するため、マラソン大会やサイクリングイベントにおけるブース出展など沖縄へのスポーツ旅行に係るプロモーションを行う。

活動指標名	スポーツ観光プロモーション件数（累計）		R6年度			進捗状況	活動概要
実績値	R4年度	R5年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		テレビ、雑誌、Web等のメディア、スポーツチームを活用したプロモーションの実施とともに、ランニング、サイクリングコースの紹介やゴルフ場の情報等、通年で楽しめるスポーツ環境のプロモーションを展開した。
	57件	52件（109件）	36件（145件）	30件（86件）	100.0%	順調	

様式１（主な取組）

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
今年度は、前年度を下回る36件のプロモーション実施となった。数は減少したものの、内容の充実に注力したため、スポーツを通した観光誘客の推進を図ることができた。	
（２）これまでの改善案の反映状況	
令和6年度の取組改善案	反映状況
○　本県の魅力がより活かせる地域（アジア、内陸県など）、種目（ランニング、サイクリング、ゴルフ、空手など）、客層（スポーツ愛好家、旅行愛好家、富裕層など）に対するプロモーションを推進する。 ○　地域プロスポーツチームや県内で開催されるマラソン大会等との連携を強化し、観客数や参加者数の増加に資するようプロモーションを推進する。 ○　スポーツツーリズムの実態調査を継続し、消費単価拡大、長期滞在に資するスポーツツーリズムのプロモーションを推進する。	○本県の特性を活かせる種目としてマラソン・サイクリング・ゴルフ等、地域としてサイクリング先進地の台湾等、客層としてスポーツへの関心はあまり高くないが旅行への関心が高い層へのプロモーションを実施した。 ○FC琉球との連携では本拠地周辺の魅力を発信し、琉球コラソンとの連携では冬の沖縄への誘客プロモーションを実施した。 ○おきなわマラソンおよびダイキンオーキッドレディースゴルフトーナメントにおいて、スポーツツーリズム実態調査（アンケート調査）を実施した。

3　取組の検証（Check）	
類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	○「観るスポーツ」に比べ、「するスポーツ」における人数の確保に令和６年度は注力したが、「観るスポーツ」にはスポーツ観戦を目的に来場を見込めるコアなファン層の獲得を狙えることが検証できた。

4　取組の改善案（Action）	
類型	内容
① 執行体制の改善	○「観るスポーツ」における人数確保を進めつつ、対象を旅行意欲が高い層から、スポーツの関心が高い層へ切り替え、さらにコアなファン層の獲得につなげることで、消費単価拡大、長期滞在化を目指す。

様式１（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	3-(9)-ア	スポーツ関連産業の振興と地域の活性化	施 策	①スポーツコンベンションの推進とスポーツ交流拠点の形成
			施策の小項目名	○スポーツツーリズム等の促進
主な取組	プロ野球キャンプ等訪問観光促進		対応する成果指標	スポーツコンベンション開催実績
施策の方向	・本県の魅力的なスポーツ環境のプロモーションを積極的に展開し、地元プロスポーツチーム等を活用したイベント、キャンプ地訪問観光、各種アウトドアスポーツ・アクティビティ等を目的とするスポーツツーリズムや県民と観光客が一体となって楽しめる‘スポーツ・健康×観光’といった沖縄のソフトパワーを活用した高付加価値コンテンツの開発を促進するとともに、各競技のニーズに対応する施設・設備等の整備や医療機関、リカバリー、コンディショニング施設等との連携を進めたスポーツ医・科学拠点形成等の環境整備に取り組みます。			

1　取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
プロ野球キャンプを目的とした来訪者の増加を図るためのプロモーション、情報発信、機運醸成等受入市町村と連携した取組等を実施する。	県,市町村	プロ野球キャンプ開催地としてのブランド化の確立、プロ野球キャンプ期間中の来訪者の増加及び経済効果の拡大		
		プロ野球キャンプ等を目的とした県外観光客数（累計）		
		88,700人	88,700人（177,400人）	88,700人（266,100人）

担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部スポーツ振興課　【　098-866-2708　】	関連URL	―

2　取組の状況（Do）

（1）取組の進捗状況　　（単位：千円）

予算事業名	プロ野球キャンプ等訪問観光促進事業		
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額
一括交付金 （ソフト）	委託	31,851	28,744

予算事業名	プロ野球キャンプ等訪問観光促進事業	
R7年度		
主な財源	実施方法	当初予算額
一括交付金 （ソフト）	委託	25,870

令和6年度活動内容

プロ野球キャンプを目的とした来訪者の増加を図るためのプロモーション、情報発信、機運醸成等受入市町村と連携した取組等を実施した。

令和7年度活動計画

プロ野球キャンプを目的とした来訪者増加を図るためのプロモーション、情報発信、コラボグッズ開発支援など受入市町村と連携した取組等を実施する。

活動指標名	プロ野球キャンプ等を目的とした県外観光客数（累計）		R6年度			進捗状況	活動概要
実績値	R4年度	R5年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		ラグザス侍ジャパンシリーズや名古屋まつりを活用したプロモーション、Webサイトやガイドブック等の配布による情報発信、県内ラジオを活用した受入市町村の現地情報の発信等の取組みを実施した。
	49,000人	49,000人(R4年度)	98,000人（R5年度）（196,000人）	88,700人（266,100人）	100.0%	順調	

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

令和６年度実績は令和７年８月ころ公表予定となっている。令和７年２月の入域観光客数は、過去最高の78万1,300人（令和６年２月比＋６万2,100人、＋8.6%）となったことから、県外観光客数の過去最高更新が期待される。

（２）これまでの改善案の反映状況

令和6年度の取組改善案	反映状況
県内受入全市町村で経済波及効果が高まるよう、プロ野球キャンプ観戦のために訪れた観光客を周遊させる取組みを強化する。	沖縄プロ野球キャンプを訪れた観光客に一つでも多くのキャンプ地を巡ってもらうための取組として、デジタルスタンプラリーに取組んだ。

様式１（主な取組）

３　取組の検証（Check）	
類型	内容
⑦ その他（改善余地の検証等）	スタンプラリーにより周遊促進を図ることができたが、来訪者のキャンプ地における消費額は停滞していることから、来訪者の満足度向上と消費額拡大を図る取組みが必要である。

４　取組の改善案（Action）	
類型	内容
④ 創意工夫による取組の改善（合理化・効率化）	県内の異なる産業との連携による特産品コラボグッズの開発を支援するなどして、来訪者の満足度向上と経済効果のさらなる拡大に取り組む。

「主な取組」検証票

施策展開	3-(9)-ア	スポーツ関連産業の振興と地域の活性化	施 策	①スポーツコンベンションの推進とスポーツ交流拠点の形成
			施策の小項目名	○スポーツツーリズム等の促進
主な取組	サッカーキャンプ誘致戦略推進		対応する成果指標	スポーツコンベンション開催実績
施策の方向	・本県の魅力的なスポーツ環境のプロモーションを積極的に展開し、地元プロスポーツチーム等を活用したイベント、キャンプ地訪問観光、各種アウトドアスポーツ・アクティビティ等を目的とするスポーツツーリズムや県民と観光客が一体となって楽しめる‘スポーツ・健康×観光’といった沖縄のソフトパワーを活用した高付加価値コンテンツの開発を促進するとともに、各競技のニーズに対応する施設・設備等の整備や医療機関、リカバリー、コンディショニング施設等との連携を進めたスポーツ医・科学拠点形成等の環境整備に取り組みます。			

1　取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
サッカーキャンプの誘致を推進し、市町村およびキャンプ実施チーム等との連携強化、キャンプを目的とした観光客の増加および経済効果の向上・地域活性化を図ることで、サッカーキャンプ地としてのブランド化を図る	県	サッカーキャンプを目的とした観光客の増加及び経済効果の向上		
		プロサッカーキャンプを目的とした県外観光客数（累計）		
		17,185人	17,185人（34,370人）	17,185人（51,555人）

担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部スポーツ振興課　【　098-866-2708　】	関連URL	―

様式１（主な取組）

２　取組の状況（Do）

（1）取組の進捗状況　　（単位：千円）

予算事業名	サッカーキャンプ誘致戦略推進事業		
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額
一括交付金 （ソフト）	委託	49,748	44,772

予算事業名	サッカーキャンプ誘致戦略推進事業	
R7年度		
主な財源	実施方法	当初予算額
一括交付金 （ソフト）	委託	41,545

令和6年度活動内容

サッカーキャンプ誘致・誘客に資する取組、トレーニングマッチのコーディネート、経済効果の検証等を行った。

令和7年度活動計画

サッカーキャンプ誘致・誘客に資する取組、トレーニングマッチのコーディネート、経済効果の検証等を行う。

活動指標名	プロサッカーキャンプを目的とした県外観光客数（累計）		R6年度			進捗状況	活動概要
実績値	R4年度	R5年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		県内クラブ訪問等の誘致活動やキャンプ受入市町村の芝環境を整備したこと等によりキャンプ実施クラブの拡大を図った。
	7,030人	6,188人（13,218人）	6,188人	17,185人（51,555人）	36.0%	大幅遅れ	

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

現在集計中で、６月末に結果が出る予定。暫定的に、R5年度実績を入力。

（２）これまでの改善案の反映状況

令和6年度の取組改善案	反映状況
○　非公開日程について、キャンプ実施クラブや受入市町村から事情を確認し、トレーニングおよびトレーニングマッチの非公開日程の減少に向け手法を検討する。	非公開日程の減少につなげるため、受入市町村やキャンプ実施クラブと連携し、カップ戦を開催した。

様式１（主な取組）

３　取組の検証（Check）	
類型	内容
⑦ その他（改善余地の検証等）	多くの観戦客が見込まれるトレーニングマッチの日程が、開催直前に公表されるため、県外からの観光客が旅程を立てづらいという課題がある。

４　取組の改善案（Action）	
類型	内容
④ 創意工夫による取組の改善（合理化・効率化）	事前に公表できるカップ戦の開催を検討するとともに、トレーニングマッチの早期公表に向け、キャンプ実施クラブと調整を行う。

様式１（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	3-(9)-ア	スポーツ関連産業の振興と地域の活性化	施 策	①スポーツコンベンションの推進とスポーツ交流拠点の形成
			施策の小項目名	○J1規格スタジアムの整備やスポーツ交流受入拠点の充実
主な取組	Ｊ１規格スタジアムの整備		対応する成果指標	スポーツコンベンション開催実績
施策の方向	・スポーツコンベンションの核となるＪ１規格スタジアムの整備、地域・観光交流拠点となるスポーツ関連施設の整備・充実や老朽化・耐震化対策等を推進するとともに、スポーツ交流の受入拠点の充実に取り組みます。			

1　取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
沖縄県のスポーツ及び観光振興に寄与するJリーグ規格スタジアムの整備に向けて取り組む。	県	整備事業の推進		
		着手に向けた条件整理		
		条件整理	条件整理	条件整理

担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部MICE推進課　【　098-866-2077　】	関連URL	https://www.pref.okinawa.lg.jp/kensei/kencho/1000011/1017729/1017736.html

様式１（主な取組）

２　取組の状況（Do）

（1）取組の進捗状況　　（単位：千円）

予算事業名	サッカースタジアム整備等推進事業		
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額
県単等	委託	21,902	1,300

予算事業名	サッカースタジアム整備等推進事業	
R7年度		
主な財源	実施方法	当初予算額
県単等	委託	109,498

令和6年度活動内容

法手続きや概略設計を進めるとともに、「Ｊリーグ規格スタジアム整備計画」の作成に向け有識者委員会の開催を行った。

令和7年度活動計画

入札公告に向けて、実施方針、要求水準書（案）の作成、法手続きに向けた調査・検討を進める。

活動指標名	着手に向けた条件整理		R6年度			進捗状況	活動概要
実績値	R4年度	R5年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		法手続きや概略設計を進めるとともに、「Ｊリーグ規格スタジアム整備計画」の作成に向け有識者委員会の開催を行った。
	調査実施	条件整理	条件整理	条件整理	100.0%	順調	

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

法手続きに関する関係機関との調整、事業者サウンディング、有識者委員会、事例調査を進めた。

（２）これまでの改善案の反映状況

令和6年度の取組改善案	反映状況
○　法手続きを進める上で必要となる資料として、概略設計、イメージパース等の作成を行うとともに、運営収支の精緻化を図る。	有識者委員会にて、法手続きの方針の確認、運営収支の検討を進めた。

様式１（主な取組）

３　取組の検証（Check）	
類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	令和６年度に作成した整備計画の内容を踏まえ、事業実施に向けての入札公告に向けた資料作成を進める必要がある。
⑦ その他(改善余地の検証等)	官民連携手法の発注方式を検討し、入札公告の資料作成を進める必要がある。
⑥ 他地域等の動向(外部環境の変化)	那覇市において、用途の緩和を行うための法手続きを進める必要がある。

４　取組の改善案（Action）	
類型	内容
⑧ その他	入札公告に向けて、実施方針、要求水準書（案）、モニタリング基本計画（案）及び特定事業の選定に必要な資料の作成を進める。
⑥ 変化に対応した取組の改善	PPP/PFI推進事業班との連携を図りつつ検討を行う。
⑥ 変化に対応した取組の改善	那覇市と調整を行った上で、法手続きを進める上で必要な資料作成を行う。

様式１（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	3-(9)-ア	スポーツ関連産業の振興と地域の活性化	施 策	①スポーツコンベンションの推進とスポーツ交流拠点の形成
			施策の小項目名	○J1規格スタジアムの整備やスポーツ交流受入拠点の充実
主な取組	スポーツコミッション沖縄体制整備		対応する成果指標	スポーツコンベンション開催実績
施策の方向	・スポーツコンベンションの核となるＪ１規格スタジアムの整備、地域・観光交流拠点となるスポーツ関連施設の整備・充実や老朽化・耐震化対策等を推進するとともに、スポーツ交流の受入拠点の充実に取り組みます。			

1　取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
スポーツを目的とした来訪者の利便性向上のため、各種スポーツ合宿等の誘致・受入を行うワンストップ窓口としてスポーツコミッション沖縄を設置し、スポーツアイランド沖縄の認知度向上と誘客拡充を図る。	県,スポーツコミッション沖縄	県外・海外スポーツ団体と県内競技団体・市町村のマッチング		
		競技連盟（各国代表クラス）の合宿件数（累計）		
		31件	31件（62件）	31件（93件）

担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部スポーツ振興課　【　098-866-2708　】	関連URL	―

2　取組の状況（Do）

（1）取組の進捗状況　　（単位：千円）

予算事業名	スポーツコミッション沖縄体制整備事業		
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額
一括交付金 （ソフト）	補助	30,000	27,000

予算事業名	スポーツコミッション沖縄体制整備事業	
R7年度		
主な財源	実施方法	当初予算額
一括交付金 （ソフト）	補助	30,000

令和6年度活動内容

沖縄県スポーツ協会に設置している「スポーツコミッション沖縄」においてスポーツコンベンション実施に係る相談対応等の各種取組を実施した。

令和7年度活動計画

沖縄県スポーツ協会に設置している「スポーツコミッション沖縄」においてスポーツコンベンション実施に係る相談対応等の各種取組を実施する。

活動指標名	競技連盟（各国代表クラス）の合宿件数（累計）		R6年度			進捗状況	活動概要
実績値	R4年度	R5年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		各種スポーツキャンプ等の誘致・受入を行う際のワンストップ窓口として、スポーツコンベンション実施に係る相談対応等の各種取組を実施した。
	33件	29件（62件）	21件（83件）	31件（93件）	67.7%	やや遅れ	

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

沖縄県内におけるスポーツ合宿・キャンプの全体件数は増加傾向にあるが、2024年オリンピック・パラリンピックの開催地がパリであったこと等から競技連盟（各国代表クラス）の合宿件数は伸び悩んでいる。

（２）これまでの改善案の反映状況

令和6年度の取組改善案	反映状況
さまざまな要望や多様なニーズの問い合わせにも施設管理者や宿泊施設との連携を強化して対応する。	競技連盟（各国代表クラス）の合宿拡大に向けて、受入に係る関係機関のほか、スポーツコミッション多角化推進事業とも連携して取り組み、スポーツ施設や宿泊施設の紹介、練習相手の紹介など、様々なニーズの問い合わせに対応した。

様式１（主な取組）

3　取組の検証（Check）	
類型	内容
③ 他地域等との比較（内部要因）	競技連盟（各国代表クラス）の合宿決定にあたっては、沖縄県内の合宿環境のほか、沖縄県内および周辺諸国における国際大会実施等（事前合宿の有無）の影響を受ける。

4　取組の改善案（Action）	
類型	内容
② 連携の強化・改善	スポーツコンベンション誘致戦略推進事業などのほか事業とも連携し、国際大会の有無にかかわらず、定期的に合宿が行われる地域を目指し、さまざまなスポーツへのアプローチ、受入れ環境の整備に取り組む。

様式１（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	3-(9)-ア	スポーツ関連産業の振興と地域の活性化	施 策	①スポーツコンベンションの推進とスポーツ交流拠点の形成
			施策の小項目名	○J1規格スタジアムの整備やスポーツ交流受入拠点の充実
主な取組	スポーツコンベンション振興対策		対応する成果指標	スポーツコンベンション開催実績
施策の方向	・スポーツコンベンションの核となるＪ１規格スタジアムの整備、地域・観光交流拠点となるスポーツ関連施設の整備・充実や老朽化・耐震化対策等を推進するとともに、スポーツ交流の受入拠点の充実に取り組みます。			

1　取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
国内外からのスポーツコンベンションの誘致を推進するため、情報の発信や各種スポーツコンベンションの歓迎支援策等を実施する。	県,スポーツコミッション沖縄	国内外からのスポーツコンベションの誘致を図るための各種スポーツコンベションの歓迎支援		
		プロ野球、サッカーキャンプにおける歓迎支援件数（累計）		
		45件	45件（90件）	45件（135件）

担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部スポーツ振興課　【　098-866-2708　】	関連URL	―

２　取組の状況（Do）

（1）取組の進捗状況　　（単位：千円）

予算事業名	スポーツアイランド沖縄推進費		
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額
県単等	委託	5,700	3,000

令和6年度活動内容

県内キャンプ実施チーム等に対する歓迎式の実施や地域特産品の贈呈など、スポーツコンベンションの気運醸成を図った。

予算事業名	スポーツアイランド沖縄推進費	
R7年度		
主な財源	実施方法	当初予算額
県単等	委託	3,000

令和7年度活動計画

県内キャンプ実施チーム等に対する歓迎式の実施や地域特産品の贈呈など、スポーツコンベンションの気運醸成を図る。

活動指標名	プロ野球、サッカーキャンプにおける歓迎支援件数（累計）					進捗状況	活動概要
実績値	R4年度	R5年度	R6年度				沖縄県でキャンプを実施するプロスポーツチームに対して地域特産品や花束の贈呈等を行ったほか、ウェルカムボードや横断幕を制作するなど、県民をあげてスポーツコンベンション受入歓迎の気運醸成を図った。
			実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
	59件	67件（126件）	74件（200件）	45件（135件）	100.0%	順調	

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

歓迎支援件数は、プロ野球キャンプ20件、サッカーキャンプ22件、その他スポーツ32件の計74件となり、目標値を達成した。
スポーツアイランド沖縄のブランド力向上等により、沖縄キャンプ・合宿は増加傾向にある。

（２）これまでの改善案の反映状況

令和6年度の取組改善案	反映状況
沖縄県観光振興基金の活用などにより、プロスポーツチームの満足度向上に向けた取組みについて検討する。	沖縄県観光振興基金を使えるか調整したが、活用には至らなかった。

様式１（主な取組）

3　取組の検証（Check）	
類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	県内でキャンプを実施するプロスポーツチームの経費が物価高の要因で高騰しているため、どのような支援が最も効果的かの検討も必要である。

4　取組の改善案（Action）	
類型	内容
⑧ その他	より効果的な支援に繋げるため、プロ野球キャンプ・サッカーキャンプの受入市町村意見交換会を活用し、市町村や観光協会等の間で情報共有を図る。

様式１（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	3-(9)-ア	スポーツ関連産業の振興と地域の活性化	施 策	②スポーツを核とした新たな産業の創出とグローバル展開
			施策の小項目名	○グローバルな市場に向けた展開の促進
主な取組	スポーツアイランド沖縄形成に向けた付加価値構築支援		対応する成果指標	スポーツ・ヘルスケア関連産業の創出に向けたビジネスマッチング件数
施策の方向	・スポーツに関連した高付加価値製品・サービスの開発に向けて、トップアスリートのトレーニングに関するデータの活用や医・科学分野との連携強化に取り組むとともに、グローバルな市場に向けた展開を促進します。			

1　取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
スポーツアイランド沖縄の形成を推進するため、各種産業の連携による、沖縄におけるスポーツの付加価値構築に向けた実証を支援することで、さらなるスポーツコンベンションの推進等を図るとともに、スポーツ関連産業における新たなビジネスモデル（産業）の創出を図る。	県	沖縄におけるスポーツの付加価値構築に向けた実証支援		
		新たな商品やサービスの創出を促す取組に対する支援件数（累計）		
		5件	5件（10件）	5件（15件）

担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部スポーツ振興課　【　098-866-2708　】	関連URL	―

様式１（主な取組）

２　取組の状況（Do）

（1）取組の進捗状況

（単位：千円）

予算事業名	スポーツアイランド沖縄形成に向けた付加価値構築支援事業		
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額
一括交付金 （ソフト）	補助	55,187	56,246

令和6年度活動内容

県内のスポーツ関連事業等へ付加価値構築を図る実証モデル等を実施する事業者に対して支援し、新たな商品やサービスの創出を促した。

予算事業名	スポーツアイランド沖縄形成に向けた付加価値構築支援事業	
R7年度		
主な財源	実施方法	当初予算額
一括交付金 （ソフト）	補助	53,041

令和7年度活動計画

県内のスポーツ関連事業等へ付加価値構築を図る実証モデル等を実施する事業者に対して支援し、新たな商品やサービスの創出を促す。

活動指標名	新たな商品やサービスの創出を促す取組に対する支援件数（累計）		R6年度			進捗状況	活動概要
実績値	R4年度	R5年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
	7件	8件（13件）	7件（22件）	５件（15件）	100.0%	順調	広報物の配布、ＨＰ、事業説明会の開催等により提案募集を行った。採択した提案に対しては、専門的知見を有する事務局および有識者で構成する審査委員会による助言等、後方支援を行った。

様式１（主な取組）

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
20件の応募があり、審査委員会における審査を経て、目標を上回る７件を支援した。	
（２）これまでの改善案の反映状況	
令和6年度の取組改善案	反映状況
周知広報の内容等については、応募者の理解向上のため不断の見直しに努め、より多くの提案応募につながるよう取り組む。	公募HPにおいて募集モデル例などを掲載し、募集を求めている事業イメージを具体化して発信した。

３　取組の検証（Check）	
類型	内容
② 他の実施主体の状況（内部要因）	補助事業者によって事業実施に向けた準備（予算積算等）に差があり、事業着手に時間を要してしまうことがある。

４　取組の改善案（Action）	
類型	内容
⑤ 情報発信等の強化・改善	Webエントリーなどを活用し選定フローを効率化するとともに、応募申請時点における提出書類の精度を高め、すみやかな事業着手につなげるよう取り組む。

様式１（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	3-(9)-ア	スポーツ関連産業の振興と地域の活性化	施 策	②スポーツを核とした新たな産業の創出とグローバル展開
			施策の小項目名	○グローバルな市場に向けた展開の促進
主な取組	スポーツ関連産業のグロバール市場への展開		対応する成果指標	スポーツ・ヘルスケア関連産業の創出に向けたビジネスマッチング件数
施策の方向	・スポーツに関連した高付加価値製品・サービスの開発に向けて、トップアスリートのトレーニングに関するデータの活用や医・科学分野との連携強化に取り組むとともに、グローバルな市場に向けた展開を促進します。			

1　取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
県内企業における海外へのスポーツビジネス展開に係る支援を実施し、沖縄におけるスポーツの付加価値を高める。	国,県,民間等	県内企業における海外へのスポーツビジネス展開		
		県内企業における海外への展開件数（累計）		
		5件	10件（15件）	15件（30件）

担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部スポーツ振興課　【　098-866-2708　】	関連URL	―

2　取組の状況（Do）

（1）取組の進捗状況　　（単位：千円）

予算事業名	スポーツアイランド沖縄形成に向けた付加価値構築支援事業		
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額
一括交付金 （ソフト）	補助	55,187	56,245

令和6年度活動内容

県内のスポーツ関連事業等へ付加価値構築を図る実証モデル等を実施する事業者に対して支援（海外展開を含む）を行った。

予算事業名	スポーツアイランド沖縄形成に向けた付加価値構築支援事業	
R7年度		
主な財源	実施方法	当初予算額
一括交付金 （ソフト）	補助	53,041

令和7年度活動計画

県内のスポーツ関連事業等へ付加価値構築を図る実証モデル等を実施する事業者に対して支援（海外展開を含む）を行う。

活動指標名	県内企業における海外への展開件数（累計）		R6年度			進捗状況	活動概要
実績値	R4年度	R5年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		活用可能な支援を実施しているものの、当該支援が必ずしも海外展開に限った内容となっていないため、令和６年度は実績がなかった。一方、将来的にインバウンド需要を視野に入れた事業に対し支援ができた。
	0件	0件	0件	15件（30件）	0.0%	未着手	

様式１（主な取組）

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
予算事業においては、20件の応募があり、審査委員会における審査を経て、目標を上回る７件を支援ができた。また、直接、海外展開に関する提案応募は０件であったが、将来的にインバウンド需要を視野に入れた事業を支援ができ、実際に海外からの問い合わせもあった。	
（２）これまでの改善案の反映状況	
令和6年度の取組改善案	反映状況
○　予算事業における重点項目の設置等の結果を踏まえ、スポーツ関連産業のグローバル展開に係る予算措置や取組について検討する。 ○　海外の現地で展開が見込めるスポーツ関連事業の情報を収集するとともに、スポーツコンベンションにおけるインバウンドの強化など、取組の対象とする海外展開の拡大を検討する。	○　海外展開に関する提案応募は０件であったことを踏まえ、効果的な支援等がないか再検討することとした。 ○　コンベンション誘致活動により、テイザーの世界選手権の沖縄開催を誘致。

３　取組の検証（Check）	
類型	内容
① 県の制度、執行体制（内部要因）	当該支援が必ずしも海外展開に限った内容となっていないため、海外展開に関する応募がない状況。

４　取組の改善案（Action）	
類型	内容
⑤ 情報発信等の強化・改善	広報物や事前説明会などにおいて、他の産業との連携による海外展開の説明を積極的に行い、海外展開に資する提案が増加するよう取組む。

様式１（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	3-(9)-ア	スポーツ関連産業の振興と地域の活性化	施 策	②スポーツを核とした新たな産業の創出とグローバル展開
			施策の小項目名	○新たなスポーツ関連事業を創出しやすい環境づくり
主な取組	県内スポーツチームと他産業とのオープンイノベーション促進		対応する成果指標	スポーツ・ヘルスケア関連産業の創出に向けたビジネスマッチング件数
施策の方向	・スポーツは、新産業の創出に向けて利活用すべき地域資源として有望とされていることから、健康づくり・リハビリテーション、ものづくり、ICT等の既存産業等との連携を強化し、プロスポーツチームをはじめとする県内企業等が新たなスポーツ関連事業を創出しやすい環境づくりを促進するとともに、スポーツ関連産業の展示会誘致・開催等に取り組みます。			

1　取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
各種スポーツ団体と他産業との連携等による新たなサービスの創出に係る支援を実施し、沖縄におけるスポーツの付加価値を高める。	国,県,民間等	各種スポーツ団体と他産業との連携等による、新たなサービスの創出		
		県内スポーツチームと他産業とのオープンイノベーション件数（累計）		
		1件	2件（3件）	3件（6件）

担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部スポーツ振興課　【　098-866-2708　】	関連URL	―

様式１（主な取組）

２　取組の状況（Do）

（1）取組の進捗状況　　（単位：千円）

予算事業名	スポーツアイランド沖縄形成に向けた付加価値構築支援事業		
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額
一括交付金 （ソフト）	補助	55,187	66,000

令和6年度活動内容

県内スポーツ関連事業等へ付加価値構築を図る実証モデル等に対して支援（各種スポーツ団体と他産業の連携等によるサービスの創出を含む）を行った。

予算事業名	スポーツアイランド沖縄形成に向けた付加価値構築支援事業	
R7年度		
主な財源	実施方法	当初予算額
一括交付金 （ソフト）	補助	53,041

令和7年度活動計画

県内スポーツ関連事業等へ付加価値構築を図る実証モデル等に対して支援（各種スポーツ団体と他産業の連携等によるサービスの創出を含む）を行う。

活動指標名	県内スポーツチームと他産業とのオープンイノベーション件数（累計）		R6年度			進捗状況	活動概要
実績値	R4年度	R5年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
	0件	1件（1件）	0件（1件）	３件（６件）	0.0%	未着手	活用可能な支援を実施しているものの、当該支援が必ずしも各種スポーツ団体と他産業との連携等による新たなサービスの創出に限った内容となっていないため、令和６年度は応募がなかった。

様式１（主な取組）

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
予算事業においては、20件の応募があり、審査委員会における審査を経て、目標を上回る７件を支援できた。しかしながら、各種スポーツ団体と他産業との連携等による新たなサービスの創出に向けた提案応募は０件であった。	
（２）これまでの改善案の反映状況	
令和6年度の取組改善案	反映状況
○　予算事業における重点項目の設置等の結果を踏まえ、各種スポーツ団体と他産業との連携等による新たなサービスの創出に係る予算措置や取組を検討する。 ○　予算事業以外にも、庁内各課から寄せられる情報等を、県内スポーツチームに提供するなど、予算事業以外の取組の強化を図った。	○　各種スポーツ団体と他産業との連携等による新たなサービスの創出に関する提案応募は０件であったことを踏まえ、効果的な支援等がないか再検討することとした。 ○　庁内各課らの情報を県内スポーツチームに情報提供した。

３　取組の検証（Check）

類型	内容
① 県の制度、執行体制（内部要因）	当該支援が必ずしも各種スポーツ団体と他産業との連携等による新たなサービスの創出に限った内容となっていないため、連携等によるサービスの創出に関する応募がない状況。

４　取組の改善案（Action）

類型	内容
⑤ 情報発信等の強化・改善	各種スポーツ団体の関係者に当該支援事業を周知するとともに、引き続き予算以外の対応として、庁内各課から寄せられる情報等を提供する。

様式１（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	3-(9)-ア	スポーツ関連産業の振興と地域の活性化	施 策	②スポーツを核とした新たな産業の創出とグローバル展開
			施策の小項目名	○新たなスポーツ関連事業を創出しやすい環境づくり
主な取組	スポーツ関連産業の展示会誘致・開催		対応する成果指標	スポーツ・ヘルスケア関連産業の創出に向けたビジネスマッチング件数
施策の方向	・スポーツは、新産業の創出に向けて利活用すべき地域資源として有望とされていることから、健康づくり・リハビリテーション、ものづくり、ICT等の既存産業等との連携を強化し、プロスポーツチームをはじめとする県内企業等が新たなスポーツ関連事業を創出しやすい環境づくりを促進するとともに、スポーツ関連産業の展示会誘致・開催等に取り組みます。			

1　取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
スポーツコンベンション誘致拡大につながるスポーツ関連産業の展示会誘致に働きかける。	県,民間等	スポーツ関連展示会の誘致		
		開催地の支援を受けたスポーツ関連展示会開催件数（累計）		
		1件	1件（2件）	1件（3件）

担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部スポーツ振興課　【　098-866-2708　】	関連URL	―

様式１（主な取組）

2　取組の状況（Do）

（1）取組の進捗状況　　（単位：千円）

予算事業名	スポーツコンベンション誘致戦略推進事業		
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額
一括交付金 （ソフト）	委託	50,838	60,152

予算事業名	スポーツコンベンション誘致戦略推進事業	
R7年度		
主な財源	実施方法	当初予算額
一括交付金 （ソフト）	委託	61,870

令和6年度活動内容

スポーツコンベンション誘致拡大を推進するため、スポーツ関連産業の展示会誘致の働きかけを行った。

令和7年度活動計画

スポーツコンベンション誘致拡大を推進するため、スポーツ関連産業の展示会誘致の働きかけを行う。

活動指標名	開催地の支援を受けたスポーツ関連展示会開催件数（累計）		R6年度			進捗状況	活動概要
実績値	R4年度	R5年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		スポーツコンベンション誘致に併せてスポーツ関連産業の展示会誘致のため主催者や関係機関との意見交換を行った。
	0件	0件（0件）	1件（1件）	１件（３件）	100.0%	順調	

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

令和６年度にスポーツ展示会１件（レジャー＆スポーツジャパン2025 in Okinawa）開催できた。

（２）これまでの改善案の反映状況

令和6年度の取組改善案	反映状況
スポーツ関連産業展示会誘致に向け、開催条件の調査や関係機関との連携等、主催者との継続的な情報収集や意見交換を行う。	スポーツ関連産業の展示会に出展しスポーツコンベンションの誘致活動に取り組むとともに、展示会主催者との意見交換や情報収集に努め、県内開催に向けた誘致活動を行った。

様式１（主な取組）

３　取組の検証（Check）	
類型	内容
⑦ その他（改善余地の検証等）	スポーツ関連産業展示会開催が実現出来たが、今後も開催を継続するかは主催者意向の影響が大きい。

４　取組の改善案（Action）	
類型	内容
② 連携の強化・改善	スポーツ関連産業展示会の開催継続に向け、開催条件の調査や関係機関との連携等、主催者との継続的な情報収集や意見交換を行う。

様式１（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	3-(9)-ア	スポーツ関連産業の振興と地域の活性化	施 策	②スポーツを核とした新たな産業の創出とグローバル展開
			施策の小項目名	○スポーツに関わる多様な人材の育成
主な取組	スポーツマネジメント等人材育成		対応する成果指標	スポーツ・ヘルスケア関連産業の創出に向けたビジネスマッチング件数
施策の方向	・持続的な県内スポーツ関連産業の発展のため、スポーツマネジメ ントや指導者などスポーツに関わる多様な人材の育成を大学、競技団体等と連携して取り組みます。			

1　取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
スポーツ関連産業の発展を牽引し、支える人材の育成に取り組む。	県,大学	スポーツ関連産業の発展を牽引し、支える人材の育成		
		情報収集、制度設計等		
		情報収集	制度設計	カリキュラム内容検討

担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部スポーツ振興課　【　098-866-2708　】	関連URL	―

2　取組の状況（Do）

（1）取組の進捗状況　　（単位：千円）

予算事業名	スポーツコミッション多角化推進事業			
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額	
各省計上	補助	—	8,800,000	

予算事業名	スポーツコミッション多角化推進事業		
R7年度			
主な財源	実施方法	当初予算額	
各省計上	補助	1,000,000	

令和6年度活動内容

スポーツコミッション多角化推進事業（スポーツ庁補助金）において、合宿受入に係る支援人材（トレーナー・身体能力測定機関等）の実証調整を実施。

令和7年度活動計画

有識者との意見交換や民間団体における取組の研究・情報収集を通し、学生が関われる取組について検討する。

活動指標名	情報収集、制度設計等		R6年度			進捗状況	活動概要
実績値	R4年度	R5年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		スポーツコミッション多角化推進事業（スポーツ庁補助金）において、合宿受入に係る支援人材（トレーナー・身体能力測定機関等）の実証調整を実施した。
	情報収集	制度設計	内容検討	カリキュラム内容検討	100.0%	順調	

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

スポーツ庁のスポーツによる地域活性化・まちづくり担い手育成総合支援事業の補助金を受け、沖縄県スポーツ協会および県内事業等と連携し、合宿受入に係る人材支援の実証調整を実施。

（２）これまでの改善案の反映状況

令和6年度の取組改善案	反映状況
令和６年度の国直轄事業の予算を活用し、スポーツコミッション沖縄が主体となった事業の実施を検討しており、事業の実施による取組の多角化とそれを担う人材の育成に取り組む。	人材育成のため合宿支援サポート時に学生の帯同について調整したが、特にトレーナー派遣では選手の体調やケガに関する個人情報を扱うため（情報の取扱いに注意が必要なため）学生の帯同は困難であった。

様式１（主な取組）

３　取組の検証（Check）	
類型	内容
① 県の制度、執行体制（内部要因）	合宿支援サポートに学生を帯同させるためには、チーム情報等を漏らさないための学生に対する情報管理のほか、学生帯同によりトレーナー等の業務効率が下がらない手法の検討が必要である。

４　取組の改善案（Action）	
類型	内容
① 執行体制の改善	人材育成において、合宿支援サポートへ学生が関わることは非常に有用であるため、関係団体との意見交換および先進事例などの情報を収集し、学生の参加が実現できるような手法について検討する。

様式１（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	3-(9)-ア	スポーツ関連産業の振興と地域の活性化	施 策	③スポーツ資源を活用したまちづくり
			施策の小項目名	○地域資源を活用したまちづくりやスポーツを通じた国際貢献の促進
主な取組	県内プロスポーツチーム等ホームゲームへの誘客促進		対応する成果指標	スポーツコンベンション参加者数（県外、海外）
施策の方向	・スタジアム・アリーナ、県内プロスポーツチーム及びトップアスリート等の地域資源を活用したまちづくりを進めるとともに、スポーツ関連団体やアスリート、地域企業等の共働による新たな製品・サービスの創出に向けた取組、子どもの居場所づくりへの支援など多様な社会課題の解決やスポーツを通じた国際貢献を促進します。			

1　取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
県内プロスポーツチーム等のホームゲームへの誘客を促進するため、県内プロスポーツチームの活躍・注目度向上につながる取組みを実施する。	県	観るスポーツの機運醸成、県内プロスポーツチーム等との連携		
		県内プロスポーツチーム等ホームゲーム動員数（累計）		
		150,000人	155,000人（305,000人）	160,000人（465,000人）

担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部スポーツ振興課　【　098-866-2708　】	関連URL	―

２　取組の状況（Do）

（1）取組の進捗状況　　（単位：千円）

予算事業名	FBWC2023のレガシーを活用したスポーツ交流推進事業		
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額
県単等	委託	—	6,000

予算事業名	スポーツツーリズム戦略推進事業	
R7年度		
主な財源	実施方法	当初予算額
一括交付金 （ソフト）	委託	245,404

令和6年度活動内容

スポーツチームを県民みんなで応援する機運醸成のための取組みや県内プロスポーツチームの活躍・注目度向上につながる取組みを実施した。

令和7年度活動計画

県内プロスポーツチームのプロモーションを県外で行い、県内スポーツチームをフックとした誘客促進を行う。

活動指標名	県内プロスポーツチーム等ホームゲーム動員数（累計）		R6年度			進捗状況	活動概要
実績値	R4年度	R5年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		スポーツチームを県民みんなで応援する機運醸成のための取組みや県内プロスポーツチームの活躍・注目度向上につながる取組みを実施した。
	284,091人	335,115人（619,206人）	348,929人（968,135人）	160,000人（465,000人）	100.0%	順調	

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

県内プロスポーツチームの活躍等により観客動員数は増加しており、令和６年度は目標16万人に対し実績が約35万人となるなど、県民のプロスポーツ等に対する関心が高まっている。

（２）これまでの改善案の反映状況

令和6年度の取組改善案	反映状況
観客動員数が少ない競技への注目度を高め、ファンを増やすための取組みとして、トップアスリートとのスポーツ交流を実施する。	琉球コラソンと連携したスポーツクリニックや琉球ゴールデンキングスと連携した学校給食交流を実施した。 また、他県での試合や一般催事「ツーリズムEXPOジャパン」において、県内プロスポーツチームのプロモーションを行い、スポーツチームファンに限らない不特定多数へのPRを行うことができた。

様式１（主な取組）

３　取組の検証（Check）	
類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	他県試合等での県内スポーツチームのプロモーション等を行った際のアンケートにおいて、渡航費用が高いことが来沖のハードルであることが確認された。

４　取組の改善案（Action）	
類型	内容
⑧ その他	アンケートに挙げられた、来沖のハードルである費用が高いことに対し、コラボグッズ販売など、試合観戦に限定されない、楽しみ方や魅力を作っていく必要がある。

様式１（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	3-(9)-ア	スポーツ関連産業の振興と地域の活性化	施 策	③スポーツ資源を活用したまちづくり
			施策の小項目名	○地域資源を活用したまちづくりやスポーツを通じた国際貢献の促進
主な取組	スポーツを通じた社会課題解決、国際貢献		対応する成果指標	スポーツコンベンション参加者数（県外、海外）
施策の方向	・スタジアム・アリーナ、県内プロスポーツチーム及びトップアスリート等の地域資源を活用したまちづくりを進めるとともに、スポーツ関連団体やアスリート、地域企業等の共働による新たな製品・サービスの創出に向けた取組、子どもの居場所づくりへの支援など多様な社会課題の解決やスポーツを通じた国際貢献を促進します。			

1　取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
県内自治体におけるスポーツを通じたまちづくり、人材育成、子どもの居場所づくり、国際交流に向けた取組を実施する。	県,市町村,民間等	スポーツを通じた社会課題解決、国際貢献への取組		
		県内自治体におけるスポーツを通じたまちづくり、人材育成、子どもの居場所づくり、国際交流に向けた取組数（累計）		
		5件	7件（12件）	10件（22件）

担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部スポーツ振興課　【　098-866-2708　】	関連URL	―

様式１（主な取組）

2　取組の状況（Do）

（1）取組の進捗状況

（単位：千円）

予算事業名	FBWC2023のレガシーを活用したスポーツ交流推進事業			
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額	
県単等	委託	224,466	6,000	

令和6年度活動内容

国内外のトップアスリートやデフバレーボール世界選手権を通じた子ども達との交流等を実施した。

予算事業名				
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額	

令和6年度活動内容

予算事業名	FBWC2023のレガシーを活用したスポーツ交流推進事業		
R7年度			
主な財源	実施方法	当初予算額	
県単等	委託	5,200	

令和7年度活動計画

日本バスケットボール協会・沖縄県バスケットボール協会と連携し、トップアスリートと子ども達との交流等を実施する。

予算事業名	国際スポーツ交流拠点形成事業		
R7年度			
主な財源	実施方法	当初予算額	
県単等	委託	87,989	

令和7年度活動計画

令和７年９月に沖縄で開催されるWBSC U-18 野球ワールドカップの開催支援や機運醸成とともに、各国選手と子ども達との交流を実施する。

活動指標名	県内自治体におけるスポーツを通じたまちづくり、人材育成、子どもの居場所づくり、国際交流に向けた取組数（累計）		R6年度			進捗状況	活動概要
実績値	R4年度	R5年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		デフバレーボール世界選手権を通じた子ども達との交流等を実施したほか、ハンドボールクリニックや、学校給食を活用した交流、海外トップアスリートの講話を行った。
	16件	19件（35件）	9件（44件）	10件（22件）	90.0%	順調	

様式１（主な取組）

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
デフバレー世界選手権において、６チーム・６学校と交流会を実施した。また、ハンドボールクリニックを１回、学校給食を活用した交流を１回、海外トップアスリートの講話を１回実施した。	
（２）これまでの改善案の反映状況	
令和6年度の取組改善案	反映状況
○　開催地である豊見城市、糸満市および沖縄県バレーボール協会との連携を強化し、県内全域への周知を図ることで、より多くの子ども達に交流の機会を創出できるよう取り組む。	○デフバレー世界選手権において、６チーム・６学校と交流会を開催し、計609名の子供たちが国内外のトップアスリートと交流を図ることができた。 ○ハンドボールクリニックでは、47名の子供たちがトップアスリートの図ることができた。 ○FIBAバスケットボールワールドカップ2023に参加したカーボベルデ代表チームを講師として県内35名でオンライン交流会を実施した。

３　取組の検証（Check）	
類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	より多くの県内の子ども達に交流の機会を創出できるよう、日本バスケットボール協会と沖縄県バスケットボール協会両団体との連携を強化する必要がある。

４　取組の改善案（Action）	
類型	内容
② 連携の強化・改善	両協会の関係者を通じて、プロリーグ選手と調整を行い、より多くの子ども達に交流の機会を創出できるような取組を実施する。

様式１（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	3-(9)-ア	スポーツ関連産業の振興と地域の活性化	施 策	③スポーツ資源を活用したまちづくり
			施策の小項目名	○国際競技大会や大規模スポーツイベントの誘致・開催
主な取組	FIBAバスケットボールワールドカップ2023の開催支援		対応する成果指標	スポーツコンベンション参加者数（県外、海外）
施策の方向	・本県の魅力を活用し、開催地周辺の地域・経済を活性化させる国際競技大会や大規模スポーツイベントを市町村及び関係団体と連携し、誘致・開催に取り組みます。			

1　取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画 活動指標（アウトプット） R4	R5	R6
FIBAバスケットボールワールドカップ2023開催に向けた受入体制の構築及び沖縄の子ども達の交流創出等、本大会を活用した地域・経済の振興を図る。	県,市町村	2023年に開催される同大会の開催に向けての支援		
		機運醸成、輸送・警備・ロジスティクス体制構築		
		機運醸成、計画策定	計画に基づく実施	―

担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部スポーツ振興課　【　098-866-2708　】	関連URL	―

様式１（主な取組）

２　取組の状況（Do）

（1）取組の進捗状況　　（単位：千円）

予算事業名	FIBAバスケットボールワールドカップ2023を契機とした「スポーツアイランド沖縄」形成事業		
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額
内閣府計上	委託	815,190	—

予算事業名			
R7年度			
主な財源	実施方法	当初予算額	
—	—		

令和6年度活動内容

当該予算事業が令和5年度を持って終了

令和7年度活動計画

活動指標名	機運醸成、輸送・警備・ロジスティクス体制構築		R6年度			進捗状況	活動概要
実績値	R4年度	R5年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		—
	—	—	—	—	0.0%	未着手	

様式１（主な取組）

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
―	
（２）これまでの改善案の反映状況	
令和6年度の取組改善案	反映状況
今後も国際大会が開催できるよう情報を収集し、各市町村と連携して誘致に取組む。また、スポーツを通じた子ども達と世界との交流機会の創出等、教育的・社会的効果が期待できる取組を検討する。	デフバレー世界選手権出場チームや県内プロスポーツチームと連携し、トップアスリートと子ども達との交流等を実施した。また、FBWC2023に続く国際大会の誘致に向けて取り組んだ結果、「ラグザス presents　第32回　WBSC U-18　野球ワールドカップ」の沖縄開催が決定し、国際大会の誘致が実現した。

３　取組の検証（Check）	
類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	取組を終了した。

４　取組の改善案（Action）	
類型	内容
⑧ その他	取組が終了した。

様式１（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	3-(9)-ア	スポーツ関連産業の振興と地域の活性化	施　策	③スポーツ資源を活用したまちづくり
			施策の小項目名	○国際競技大会や大規模スポーツイベントの誘致・開催
主な取組	国際競技大会の開催支援		対応する成果指標	スポーツコンベンション参加者数（県外、海外）
施策の方向	・本県の魅力を活用し、開催地周辺の地域・経済を活性化させる国際競技大会や大規模スポーツイベントを市町村及び関係団体と連携し、誘致・開催に取り組みます。			

1　取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
県内で開催される国際競技大会について、市町村や関係機関と連携しながら警備や医療提供、観客輸送等の支援を行うとともに、ボランティア募集等を通じて運営ノウハウを蓄積し、次回以降の大会誘致に繋げる。	県,市町村,競技団体	競技団体等と連携した各種国際競技大会、大規模スポーツ大会の誘致及び開催		
		開催地自治体と連携した国際競技大会の開催件数（累計）		
		1件	1件（2件）	1件（3件）

担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部スポーツ振興課　【　098-866-2708　】	関連URL	―

様式１（主な取組）

２　取組の状況（Do）

（1）取組の進捗状況　　（単位：千円）

予算事業名	デフバレー世界選手権開催支援事業		
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額
県単等	負担	224,466	9,985

令和6年度活動内容

デフバレーボール世界選手権2024沖縄豊見城大会の開催にあたり、大会実行委員会の取組を支援した。

予算事業名	国際スポーツ交流拠点形成事業	
R7年度		
主な財源	実施方法	当初予算額
県単等	負担	87,989

令和7年度活動計画

U-18 野球W杯の開催にあたり、主催者に負担金を拠出するとともに、大会に向けた周知広報・機運醸成、県内のこども達等との交流事業を実施。

活動指標名	開催地自治体と連携した国際競技大会の開催件数（累計）		R6年度			進捗状況	活動概要
実績値	R4年度	R5年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		デフバレーボール世界選手権2024沖縄豊見城大会の実行委員会へ参画し、FBWC2023開催ノウハウを踏まえた助言等を行うとともに、大会参加選手と沖縄の子どもたちとの交流機会等を創出した。
	1件	1件（2件）	1件（3件）	１件（３件）	100.0%	順調	

様式１（主な取組）

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
デフバレーボール世界選手権2024沖縄豊見城大会の実行委員会へ参画し、FBWC2023開催ノウハウを踏まえた助言等を行うとともに、大会期間中も開催市及び地元競技団体と連携し、マスコミや来賓対応等を行うことで、大会の成功に寄与できた。	
（２）これまでの改善案の反映状況	
令和6年度の取組改善案	反映状況
○　本県の地理的特性を活かし、「スポーツアイランド沖縄」を実現するため、県として誘致の効果や開催市町村等との費用負担等の仕組みを整え、積極的な取組を検討する。	○FBWC2023に続く国際大会の誘致に向けて取り組んだ結果、「ラグザス presents　第32回　WBSC U-18　野球ワールドカップ」の沖縄開催が決定し、国際大会の誘致が実現した。 ○FBWC2023を契機に培われたレガシーを活用し、試合開催、国際交流、バスケットボールクリニックの実施に繋げるために、日本バスケットボール協会とスポーツ振興に関する連携協定を締結した。

3　取組の検証（Check）

類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	国際大会の誘致は、主催者以降の影響が大きいことに加え、開催地となる地元自治体との連携が重要となっている。

4　取組の改善案（Action）

類型	内容
⑧ その他	国際大会誘致に向け、主催者からの情報収集により開催条件を調査するとともに、開催条件に対応するため、地元自治体との連携等を行う。

様式１（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	3-(9)-ア	スポーツ関連産業の振興と地域の活性化	施　策	③スポーツ資源を活用したまちづくり
			施策の小項目名	○各種スポーツイベント開催の推進
主な取組	スポーツイベント開催支援		対応する成果指標	スポーツコンベンション参加者数（県外、海外）
施策の方向	・県民のスポーツ参画意識の向上や競技力向上を図るため、各種スポーツイベント開催を推進し、児童生徒をはじめとする県民がスポーツと接する機会やトップアスリートと交流する機会の創出に取り組みます。			

1　取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
スポーツツーリズムを推進するために、県内におけ新たなスポーツイベント創出のための支援する。	県	県内におけるスポーツイベントの創出、定着化、自走化に向けた支援		
		スポーツイベント開催支援件数（累計）		
		4件	4件（8件）	4件（12件）

担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部スポーツ振興課　【　098-866-2708　】	関連URL	―

様式１（主な取組）

２　取組の状況（Do）

（1）取組の進捗状況　　（単位：千円）

予算事業名	スポーツイベント支援事業		
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額
一括交付金 （ソフト）	補助	24,125	21,714

予算事業名	スポーツイベント支援事業	
R7年度		
主な財源	実施方法	当初予算額
一括交付金 （ソフト）	補助	21,290

令和6年度活動内容

県内におけるスポーツイベントの創出を図り、定着化、自走化に向け４件の補助を行った。

令和7年度活動計画

県内におけるスポーツイベントの創出を図り、定着化、自走化に向け４件以上の補助する。

活動指標名	スポーツイベント開催支援件数（累計）		R6年度			進捗状況	活動概要
実績値	R4年度	R5年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		スポーツを通した観光誘客を推進するため、県内におけるスポーツイベントの創出を図り、自走化、定着化に向けて４件の補助対象事業者に補助した。
	4件	４件（８件）	4件（12件）	４件（12件）	100.0%	順調	

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

新規スポーツイベントは補助率を高く設定し、２年目以降のスポーツイベントは補助率を下げるなど、スポーツイベントの定着化が図られるよう支援枠を設定しており、開催支援件数が目標値に達しているため順調とした。

（２）これまでの改善案の反映状況

令和6年度の取組改善案	反映状況
○　採択事業者に対し、安定的な収入の獲得方法等、アドバイザーによる自走化・定着化を目指した定期的な支援する。 ○　事業者のイベントによる稼ぐ力を向上させるため、引き続きイベント本体に付帯する事業について支援する。 ○　県外・海外からのイベント参加者を向上させるために、沖縄で開催するイベントの魅力を伝えるための情報発信する。	○　アドバイザーによる面談およびメール等での支援を定期的に行った。 ○　イベントの安定的な収入確保や集客力向上させるため、イベント本体に付帯して行う事業について支援した。 ○　スポーツイベント情報を扱うWebサイトを活用し、イベント情報の発信した。

様式１（主な取組）

３　取組の検証（Check）	
類型	内容
② 他の実施主体の状況(内部要因)	イベント公募の発信は十分行うことができたが、イベント自体を広く一般に周知する効力を発揮できなかったので、イベントの周知をさらに強める必要がある。

４　取組の改善案（Action）	
類型	内容
⑤ 情報発信等の強化・改善	イベント周知の効力を発揮する必要があるためアドバイザーによる支援を継続的に行うほか、事業者のイベント発信力を向上させるため、SNSを用いた周知など、早期の段階から広報することを助言する。